

2022年度第2回理事会議事録

期 日：2022年9月30日（金）19時～20時20分 web会議

出席者：黒田 輝、内田幸司、江田哲男、岡本和也、笠井治昌、菊地克彦、熊代正行、高橋
順士、高橋光幸、寺田理希、土井 司、沼野智一、山崎 良、吉丸大輔、錦 成郎
委 任：大野誠一郎、鈴木雄一、

[報告事項]

1. 第18回磁気共鳴専門技術者認定試験の試験会場と申請者数

期日：2022年（令和4年）10月30日（日）12:50～15:20

試験プログラム 13:00～14:00 筆記試験(1) 基礎物理,撮影技術,応用技術,読影技術など

14:15～15:15 筆記試験(2) 保守管理,安全性,アーチファクト,解剖など

安全管理講習会 事前に e-learning による受講

【東京会場】 ビジョンセンター西新宿 東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル 7F

【大阪会場】 難波御堂筋ホール 大阪府中央区難波 4-2-1 難波御堂筋ビルディング 6F

定員：各会場 180 人で募集 → 定員内での申込み → 東京・大阪共 1 会場開催

受験申請者数

	東京	大阪	合計	
申請者数	131	125	256	
初 回	55	54	109	42.6%
再受験	76	71	147	57.4%

2. 第18回磁気共鳴専門技術者認定試験作成委員会

(1) 認定試験作成委員会

第1回委員会：7月16日（土） 10：00～13：00 JSRT 東京事務所 出席者 13 名

第2回委員会：8月20日（土） 13：00～16：00 JSRT 東京事務所 出席者 11 名

・本文中のスペルアウトを省略するために、問題用紙に略語集を追加した。

(2) 試験監査委員会

第1回委員会：8月18日（木） 19：00～20：30 ZOOM 会議 出席者 3 名

第2回委員会：9月12日（月） 19：00～22：00 ZOOM 会議 出席者 3 名

[議事]

1. 第18回磁気共鳴専門技術者認定試験受験者の承認

会場	申請者	再受験	初回	再審査	再提出	受験資格
東京	131	76	55	52	52	131
大阪	125	71	54	46	46	125

- ◆ 申請者全員に受験資格を与える。
- ★ 書類審査について、
経費 初回申請 109 人の書類審査料（3000 円）は徴収済
最大 256 人の受験料（7000 円）は試験終了後に徴収する（未受験者は不要）
- ★ 性能評価試験の書類審査に関して
 - ・ SNR 測定について、2 回撮像時のゲイン調整の未記載が多かった。
 - ・ 均一性試験について、SNR の未記載が多かった。

2. 第 18 回磁気共鳴専門技術者認定試験の開催について

2-1) 新型コロナウイルス対策

- ・ 新型コロナウイルスが大流行し社会的に開催が不適切だと判断される場合は延期する。
- ・ 試験実施最終判断は 10 月 20 日（木）にする。
- ・ 延期の場合は、非常事態宣言解除後の両会場が確保できる 6 ヶ月以内に実施する。
- ・ 試験実施にあたっては、十分な感染対策を施して開催する。

2-2) 認定試験会場の運用

- ・ 東京会場：試験実施責任者 江田哲男 副責任者 沼野智一
スタッフ：菊地克彦、鈴木雄一、北川 久、吉丸大輔、畑 純一、福澤 圭（8 人）
受付番号が 133 まであり空き番号が 2 席ある。座席は 133 用意する。
- ・ 大阪会場：試験実施責任者 土井 司 副責任者 内田幸司
スタッフ：山崎 良、佐川 肇、竹森大智、立石宗一郎、垂脇博之（7 人）

3. 第 18 回磁気共鳴専門技術者認定試験の合否審査と認定証の発行について

3-1) マークシート読み込み作業

- ・ 認定試験終了後、東京と大阪を別々に当日中に実施する。
- ・ 受験者の回答傾向をみて、試験問題に不備がないかを確認する。

3-2) 合否判定会議

- ・ 約 1 週間で試験問題の問題点を洗い出し、認定試験作成委員によるメール審議を行う。
- ・ 11 月 20 日までに不適切問題の議論を終え合否判定会議を開催する。

3-3) 合格者の認定と認定証の発送

- ・ 11 月末の第 3 回理事会（web）にて合格者を承認する。
- ・ 12 月上旬に認定証を作成し、中旬に発送作業を行う。

3-4) 認定試験の解答用紙（マークシート）の保管

- ・ 1 年とする（今年度の認定試験の実施後に、前年のマークシートを処分する）。

4. MRI 医療安全管理セミナー

4-1) 期日 12 月 3 日（土）10:00～17:00（収録準備のため 7:30 に開場）

4-2) 会場 ビジョンセンター品川 東京都港区高輪 4-10-8 京急第 7 ビル（高輪口 3 分）

4-3) 募集 会場参加 40 人、web 参加 300 人

4-4) 受講費 1000 円 (更新講習会として受講する方は無料)

会員管理システム (RacNe) から事前振込

4-5) 申込期間 9 月 15 日 (木) ~11 月 26 日 (金)

4-6) 開催方法 会場ライブとライブ配信のハイブリッド方式とする

⇒ ホームページの「動画で学ぶ医療安全」を更新する。

4-7) 第 13 回 MR 医療安全セミナープログラム

<開講式・オリエンテーション> 9:45~9:50 進行: 高橋光幸 (横浜栄共済病院)

1) 9:50~10:20 講義 [1] 基本的な医療安全対策 高橋順士 (虎の門病院)

2) 10:20~10:50 講義 [2] 強磁性体の持込み 秦 博文 (北里大学病院)

3) 11:00~11:30 講義 [3] 体内装着品への対応 高橋沙奈江 (杏林大学保健学部)

4) 11:30~12:00 講義 [4] 操作モードについて (SAR, dB/dt, slew rate)

小見正太郎 (北里大学病院)

5) 13:00~13:30 講義 [5] 化粧に関する対応と考え方 星 由紀子 (JCHO 仙台病院)

6) 13:30~14:00 講義 [6] 貼付剤の対応と注意点 吉田 礼 (栗原市立栗原中央病院)

7) 14:00~14:30 講義 [7] 条件付き MRI 対応医療機器について 矢部邦宏 (山形県立新庄病院)

8) 14:30~15:00 講義 [8] 体外装着品への対応 坂井上之 (東千葉メディカルセンター)

9) 15:30~16:00 講義 [9] 安全講習 MR 装置の安全管理 (法令に基づく安全管理技術)

岡本和也 (キヤノンメディカルシステムズ (JIRA 標準化委員))

10) 16:00~16:30 講義 [10] MRI 検査を安全に運用するために 土井 司 (高槻会高井病院)

12 月 4 日 (日) 確認テスト (WEB) 各講義から 10 分程度で解ける 5 門程度の設問

4-8) 運営に関して

- ・講義室内は最小限の飲水可能を許可し、食事は外部で取ってもらう。
- ・講義は、基本的に会場での講演とし、web での講演は動画を事前に送付していただく。

5. MR 肝エラストグラフィ講習会の開催について

MR 肝エラストグラフィの管理の一翼を担う磁気共鳴専門技術者をサポートするために、「加振装置の精度管理方法ならびに標準的な画質を担保する手法を学ぶための講習会」として磁気共鳴専門技術者認定機構が独自に開催する。

5-1) 磁気共鳴医学会との協調

1) MRI 検査管理認証制度委員会の吉満研吾先生 (福岡大学) に講習会の主旨を説明し、認定機構が講習会を開催することに賛同していただいた (2022/9/10)。

講習会の必要性も感じておられた。

2) 認証のために提出される画像の中には、不適切なものも含まれている。

JRC2023 で GE 社に MRE のハンズオンセミナーを依頼している。

5-2) 機構としての方針

1) 加振装置の精度管理方法ならびに標準的な画質を担保する手法を提供する講習会とする。

2) 保険適用を申請するために、MR 肝エラストグラフィの責任者や装置管理者に任せられ

る磁気共鳴専門技術者が、それにふさわしい知識と技術を習得していただく（磁気共鳴専門技術者をサポートする）ために磁気共鳴専門技術者認定機構が自主的に開催する。

- 3) 磁気共鳴専門技術者を輩出している認定機構には、この制度で任ぜられている磁気共鳴専門技術者が役割を果たせるように、レベルを担保する責務がある。
- 4) 講習会は、MR 肝エラストグラフィの正しい知識と技術の普及を図ることなので、定期的な受講を求めることはせず、管理評価制度とは一線を画す。

5-3) 進捗状況

- 1) 沼野理事に研修プログラムの作成を依頼した。
- 2) 吉満先生から 9 月 26 日に「研修会の内容ならびに開催主旨について問題はない。よろしくお願ひします」との返事をいただいた。

5-4) 今後の計画

- 1) 都立大学の会場使用許可が 10 月 20 日に審議され、10 月末までに決まる。
- 2) 実習でのボランティア撮像は、沼野理事の倫理承認を利用して実施する。
- 3) 受講費は 3000 円とする。
- 4) 募集人員はとりあえず 15 名とする。
- 5) 第 3 回理事会（11 月末）に開催期日、講師を含むプログラム構成を報告する。

6. その他

6-1) zoom の webinar 契約について

理由：Medinar がサービスを終了したために web 開催に困っている研究会のために、機構として ZOOM の webinar を契約し、研究会開催時にアカウントを貸与する。

経費：500 名視聴...135,240 円/ID・年 月額換算 11,270 円

1,000 名視聴...666,360 円/ID・年 月額換算 55,530 円 3,000 名～もある。

- 運営方法などに課題があるので、どのような方法なら広く認定研究会に利便を提供できるかを第 3 回理事会までに高橋光幸理事を中心に検討する。
- 利用・活用は 2023 年 1 月からの使用可能を目標にする。

6-2) 医療安全の研究のための認定機構の活用依頼

- この研究が認定機構公認であるかのように捉えかねないので慎重に対応する。

6-3) 更新延長の期間について

- 期間を明確に決めていないので、次回理事会に内田理事が提案する。

6-4) 次回第 3 回理事会

- 2022 年 11 月下旬（web）を予定する。

以上